



楽しく充実した冬休みに

校長 菅野 朝子

本校の目指す学校像は、「笑顔があふれ、自分から進んで取り組み、元気いっぱい为学校～学校・家庭・地域が協調・協働して未来を創る児童を育てる～」です。修学旅行、運動会、社会科見学、遠足、音楽会、ふじみっ子まつりと様々な行事があった2学期でしたが、子供たちは笑顔でいろいろなことに自分から進んで取り組み、元気いっぱいに活動することができました。

さて、明日からは冬休みです。子供たちは、ご家庭や地域で過ごすこととなります。2週間余りと期間は短いですが、1年の終わりと始まりを経験する大切な時期です。ぜひ年末・年始のさまざまな行事をご家庭でも体験させてください。そして児童の自己肯定感を高めさせるチャンスではないでしょうか。児童の自己肯定感を育むには、「認めてもらえた」「わかってもらえた」「受け止めてもらえた」の積み重ねが大切です。「叱って動かす」を続けていると、子供は無気力になります。イライラしている時間も増えるそうです。その原因は、自分で考え行動し、喜びを感じる経験を積んでいないからです。お手伝いをさせるにも、余計時間がかかってしまい、失敗するのを見ていられないと感じる方もいるでしょう。でも、失敗はつきものです。どうやったらうまくできるかと自分で考えさせながら様々なことを体験させてください。(参考「子どもの自己肯定感を育てる100のレッスン」松村未来 著)

■大掃除



1年間の終わりに掃除をして、きれいな家で新年を迎えたいとする昔からの風習です。大掃除や片付け等をするときには、子供たちにも役割の分担をお願いします。そしてきれいに掃除した後は、お正月の飾りをし、日本ならではのお正月の雰囲気を楽しむことで、家族の一員という気持ちも深まるのではないのでしょうか。

■大晦日

除夜の鐘が鳴り響く中、新しい年が始まります。元旦は、昔から日本人が1年のうちで一番大切にしている日です。年越しそばを食べるときには、今年1年の中でがんばったことを各家庭で話題にして、子供たちをたくさんほめてあげてください。そして、新しい年の抱負など話し合ってみてはいかがでしょうか。



■初詣・正月料理・お正月の遊び



三が日は、元旦から3日間のことを指しますが、家族で初詣に出かけたり、親族が集まったりします。お正月にお雑煮が食べられるようになったのは平安時代ごろからだそうですが、その年の歳神様にお供えしたおもちや野菜などを食べることから始まったそうです。また、お正月ならではの遊びには、こままわしや凧揚げ、福笑い、はねつき等があり、どれも昔から日本に伝わる素晴らしい文化です。新しい年、おせち料理を食べながらそんなことを話題にしたり、家庭でできる遊びを家族でしたりして絆を深めてください。

冬季休業中の緊急連絡先

冬季休業中 12月25日～1月7日 学校対応時間 8:20～16:50

※緊急な連絡を要した時には学校へご連絡ください。富士見小学校 TEL 04-2957-9107

※次の期間や日時においては、連絡先が学校ではなく市役所となります。

○休日や平日の時間外 ○閉庁日12月28日～1月5日狭山市役所 04-2953-1111 (警備室へつながります。)

※冬季休業中は、正門以外は防犯上施錠していますので、ご承知おきください。

★学校から配布されました「冬休みの生活について」を親子でよく読み、楽しい冬休みとなるようよろしく願いいたします。